

第3章 奈良先端科学技術大学院大学同窓会

奈良先端科学技術大学院大学同窓会（以下同窓会という）は、平成5年度情報科学研究科入学の城 和貴氏（現奈良女子大学 教授）をはじめ各研究科の修了生（修了見込み者を含む）14名の発起人によって、平成12年3月11日（土）に発足した。

同窓会は、平成6年12月13日及び平成7年1月10日開催の火曜会（学長懇談会の前身）の席上、同窓会についての話題が発端となり、平成7年2月15日（水）情報科学研究科セミナー室で情報科学研究科及びバイオサイエンス研究科の教官及び学生によって打合会が開催されたが、大学として一本化された同窓会の設立は考えていない旨の意見が出され、実質見送りとなった。

その後、幾度か大学で一本化した同窓会については懸案事項としてあがってはいたが発足までには至らなかった。

平成11年に鳥居現学長が副学長に就任した折り、同窓会の設立について、学生課に要請があり、大学として同窓会を設立し、同窓生の親睦や母校の教育・研究発展のために毀誉していくことを目的として発足した。

平成12年3月11日の発起人会では、設立趣意書案、同窓会規則及び細則の制定、役員を選出等について、引き続き行われた同窓会評議員会では、事業概要、会費の徴収方法、今後の運営方針について審議し、了承された。

同窓会の発足が大学の第1期生修了時でなく、途中からであることから、修了生を含む全対象学生に次のように周知した。

- 1) 平成11年度修了生には学位記授与式で、平成12年度入学生には入学式において案内を配布した。
- 2) 在学生には、5月中旬に各講座のメールボックスに配布するとともにE-メールにより案内した。
- 3) 平成12年9月には平成12年度秋期入学者に案内を送付した。
- 4) 平成13年2月には、平成11年12月以前の修了生に案内を送付した。

以上で第1期修了生（退学者を含む）から在学生まですべての者に対する通知を終えた。

また、“せんたん”の号外4号、5号に同窓会からの案内記事を掲載した。

同窓会発足後、平成13年5月11日（金）に、東京都千代田区の砂防会館で関東1都5県在住の同窓生を対象に初の同窓会を開催し、関東に在住の修了生371名中25名の参加があった。

同窓会は、会立ち上げから1年6月がすぎることから、同窓会事務局を開設することが望まれる。

表 同窓会費納入者について

	対象学生数	会費納入者数	割合(%)	備考
修了者等	1,772	132	7.4	
在 学 生	1,002	145	14.5	
計	2,774	277	10.0	

平成13年11月1日現在

